

42 破天荒

平成三十年度版
創刊
第一号

破天荒とは、本来、「今まで人がなし得なかったことを初めて行うこと」、「前人未到の境地を切り開くこと」という意味を持ちます。

この度、晴れて入学を許可された四十二回生の皆さん、保護者の皆様。改めまして、相生高等学校ご入学おめでとうございませう。一学年主任を仰せつかった荒内秀明です。これからの三年間、皆さんと、ともに笑い、ともに感じ、ともに歩んでいきましよう。どうぞよろしくお願いいたします。

この学年団は、四十二回生と同じで、相高に対しては、とてもフレッシュな集団です。けれども、相高生の、真面目で素直な心を大切にできる集団です。また、四十二回生は、高大接続改革に伴い、今までの進路指導に加えて、新たなことに取り組み、細やかに情報を共有し、経験していくことで、これからの相高の礎になつていく回生です。

まさに前人未到の境地を切り開く「破天荒」な回生なのです。教師も生徒も、未知なる世界の不安感の中にも、期待感を抱きながら、これから自分の経験したことを、今まで以上に、自分の言葉で表現していくことが必要になります。だからこそ、

「やればわかる」

「言わねば」

「やっただけ」

「やっただけ」

「やっただけ」

そんなチームに育っていきたく思います。

つきましては、保護者の皆様にも、「チーム42」の一員として、ともに歩んでいただきますようお願いいたします。

お子様とともに、我々教師とともに、喜び、悩み、そして、叱咤激励を頂くとともに、この回生にとって、一番の応援団であり、サポーターであつて下さい。

生徒たちの前に、今は簡単に進んでいける道は当然ありません。だからこそ、苦しいし、面白い。自ら進もうとしているから、苦しみを感じ、悩むことを理解してあげて下さい。待つことは苦しいし、目の前に道を切り開いてやりたい。そう感じるのには、親であればある意味当たり前です。その気持ちと闘いながら、熱く冷静に、大きく温かい懐で、生徒自身の成長を想ってやっつけて下さい。自ら学び、歩む姿を思い描いて、時々気付かない程度に、背中を押してやっつけてもらえますか。時々気付かない程度に、背中を押してやっつけてもらえますか。

すべては、三年先に自分の人生の強いステップを踏むために。「チーム42」の応援、よろしくお願ひします。

入学後の予定

十日(火)

離任式・対面式・オリエンテーション
頭髪検査・身体測定・写真撮影

十一日(水)

学習オリエンテーション・学年集会・LHR・自転車通学者自転車点検
作文「3年後の自分へ」
原簿は卒業式前日に本人へ、コピー一部を保護者に返却(翌週)

とても大事にしてほしい作文です。「なりたい自分」をしっかりと描いて、この日を迎えて下さい。そして、三年後、胸を張ってこの作文を読み返してほしいものです。

十二日(木)

学習オリエンテーション・授業・LHR

十三日(金)

野外活動(グリーンエコー笠形)

十六日(月)

スタデイ・サポート

十七日(火)

通常授業

二十日(木)

部活動登録

相高生活で一番大切にするべきことは、進路実現のための「学び」活動です。知識・表現力・行動力、そして、3年間、やり遂げたことに対する自信を持って、困難に立ち向かう心の強さを、四十二回生には身につけてほしいと考えます。

心・技・体

どれも一番大切とは言えませんが、どれも一番になり得ると思います。学校生活のいろんな場面で、自分の可能性を追い求めてほしいものです。苦しいことが頑張れるのは、したいことを持っていることです。積極的に部活動参加を推奨します。心の底からの、いろんな笑顔を見せてもらえとることを期待しています。

学年団の先生より

副主任 垣見 信三 (国語)

みなさん、入学おめでとうございませう。

これから始まる若いみなさんとの一年間が楽しみで、わくわくしています。

「鉄は熱いうちに打て」と言います。高校での三年間という時間は、みなさんが想像している以上に貴重なものとなるでしょう。縁あって「同じ釜の飯を食う」ことになりました。人とこととの出会いを大切に、仲間と切磋琢磨しながら、さまざまな体験を積み重ねて行つて下さい。そして、今の「やるぞー」という初心を忘れず、何事にも積極的に取り組んで下さい。そのためには、ちよつと背のびをする心を心がけ、「今」・「この場」を楽しみながら、いろいろなことを感じ、考えるということを繰り返して下さい。その過程で、よい友をつくり、またよき師に導かれながら、新しい自分を発見し、うんと成長して欲しいと思つていきます。

みなさんが成長していく現場に身が置けることに感謝すると共に、及ばずながら手を差し伸べ、少しでも支えられたらと思つていきます。お互い、相高での生活を楽しまましよう。

副担任 坂本 佳耶 (地歴公民)

一年生のみなさん、ご入学おめでとうございませう。世界史の授業を担当します坂本佳耶(さかもと かの)です。世界史というところで、ある偉人の話をしようと思つています。その人は、ウルト・ディズニール。あの有名なミッキーマウスの生みの親で、ディズニールランドの創設者です。ちなみに私はプーさんが一番好きです。ぼてつとしたお腹がかわいいです。余談はさておき、今では有名なウルトですが、簡単に夢を叶えたわけではありませぬ。子どもの頃から絵を描くのが好きだった彼は、新聞で漫画を描く仕事に就きますが、生活は厳しいものでした。その後、デザイン会社で働きますが、クビになり、二度自分で会社を立ち上げますが倒産してしまいます。三度目の正直で立ち上げた会社が今のディズニール社で、ここでも困難が待ち受けていました。それを乗り越え、今に至ります。「夢の国」ディズニールランドも、多くの苦難の上に出たものなんです。夢を叶えるのは簡単ではないかも知れませんが、諦めずに頑張る続けることはとても大切なんです。夢がある人はそれを叶えるための、まだ見つかっていない人は、それを叶えるための、頑張りなさい。少しだけでもその力となれるように頑張りなさい。よろしくお願ひします。

一組担任 村住 敏宏 (保健体育)

四十二回生の皆さん、ご入学おめでとうございます。いよいよ相生高校での生活がスタートしますね。高校での三年間は人生の中では大変短いものですが、これからの人生をどのよう生きていくかを決めるとしても大切な時期です。期待と不安で将来のことなど漠然としたものかもしれませんが、それでも大丈夫です。これからのいろいろなことにチャレンジをして下さったり、勉強はもろろんのこと部活動であったり、生徒会活動であったり、何かひとつでも興味を持ったから、行動を起こすことを心がけてみて下さい。その経験がこれからの自分自身の力になります。自分の夢、自分の将来を信じ、強い意志を持って下さい。「意志あるところに道は開ける」

教科は保健体育、男子バレーボール部の顧問です。身長が高いためわかると思います。皆さんと高校生活が充実したものであるように共に頑張りたいと思いますので、一年間よろしくお願ひします。

二組担任 平地 悦子 (英語)

四十二回生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年度、一年二組の担任をさせて頂く、平地悦子(ひらちえつこ)と申します。教科は英語、部活は女子バレーボール部副顧問です。全クラス授業を担当するので、よろしくお願ひします。

皆さん、不安や期待、いろいろな心境で入学式を迎えたのではないのでしょうか?でも大丈夫。みんな同じ気持ちです。高校生活は自分次第でも心に残る充実した三年間になると思っています。しかしながら、そのためには楽しいことだけではダメ。やるべきこと・やらなければならないことをしっかりと自覚し、自分の目標に向かってしっかりと努力して下さい。『ちよつと自分にはムリかも・・・』と思うこと、一つ上のレベルに挑戦してほしい。そのもう一歩先の景色は全く違うし、自分が苦労して勝ち取ったフィールドではとても頑張れます。常にベストを尽くすことを心がけ、三年後に悔いの残らないようにして下さい。そこには自分の周りの人(家族・友達・先生など)の支えがあることを忘れずに。頑張り続けている人の顔は晴れ晴れしています。みなさんと共に成長できるように、私自身も頑張(がんば)ります。よろしくお願ひします。

三組担任 前田 嘉暢 (英語)

四十二回生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年度、相生産業高校より赴任しました前田嘉暢と申します。教科は英語、部活動は剣道部を担当します。皆さんと一緒に新たな気持ち

ちで頑張りますので、よろしくお願ひします。先日、平昌五輪スピードスケートにおいて金メダルを獲得した小平奈緒選手が、競技終了直後のインタビューで、「明日死んでもいいように、その日一日一日を後悔しないように練習してきました」と述べました。この、「明日死んでもいいように」という言葉が示すように、小平選手は並々ならぬ努力をされて栄光を勝ち取られました。高校生活は人生における分岐点だと思えます。この大事な分岐点で死にも狂いで努力をするか、それとも並で終わるのか。皆が個々の夢を実現するために、出し惜しみすることなく努力を重ね、自己を確立させてください。私も精一杯頑張ります。共に頑張りましょう!!

四組担任 長生 達也 (数学)

高校入学おめでとうございます。長生達也(ナガオタツヤ)と申します。教科は数学です。

すでに何度も言われているかもしれませんが、高校生活の三年間はあつという間に過ぎていきます。中学生のときと比較すると、できることも格段に増えます。なので、高校生活を通して少なくとも一つ自慢できること、あるいは自分で語ることのできる趣味や特技を見つけ、磨いて欲しいと思っています。また、知らないことや経験したことのないものに対して、背を向けるのではなくまずは挑戦してみたい。たとえ失敗したとしても、その経験が必ず今後の成功のために活かされるはず。何をすればいいのかわからない、努力が実を結ばず諦めそうになつているなど壁に当たったときは、いつでも相談して下さい。私自身、まだまだ経験が足りない部分もありますが、私にできることは全力でサポートします。初めての高校生活で慣れないことも多く出てくると思いますが、一緒にこの一年間頑張りついでいきましょう。どうぞよろしくお願ひします。

五組担任 山本 一芳 (理科)

ご入学おめでとうございます。今年度一年五組の担任をさせて頂いたことになりました。山本一芳です。担当教科は理科です。部活動はバスケットボール部と自然科学部の顧問を担当します。

高校での三年間は、人生の中では大変短いものですが、君たちの将来を方向付ける大切な時期です。その大切な時期に関わることのできる君たちとの出会いに感謝しています。将来の展望は、今はまだ漠然としたものかもしれませんが、それでも大丈夫です。入学時の新鮮さと心地よい緊張感を持ち続ける努力を

して下さい。また、自らの限界を決め付けず、何事にも全力投球する努力をして下さい。高校三年間には、嬉しいことだけではなく辛いことも多くあると思います。しかし、努力を継続することで、心身を大きく成長させ、高校卒業後のステップへの礎を築くことができると思っています。最後に恩師から頂いた格言を紹介したいと思います。細菌学の先駆者であるルイ・パスツール(Louis Pasteur)のものです。『幸運は備えある人へのみ宿る』備えのための努力に限界はありません。お互いに頑張りついでいきましょう。



最後は私、

学年主任 荒内 秀明 (数学)

です。この先、いろいろと話す機会もあるので、今回は、学年団の先生方の紹介をメインにさせて頂きます。

四十二回生は、この学年通信の体裁と同じように、成長することがたくさん望めます。

日々ひとつの気付き を目標に、

一年三百六十五個の成長 を

目指し、今日から頑張りついでいきましょう。

相高坂から、学校を見上げる方向の桜もなかなかです。今年、開花が早く、今日の入学式には、少し葉桜になってしまっているかもしれません。これは、ある意味では残念に感じることもかもしれませんが、実は、この桜坂、誰よりも、何よりも、四十二回生に対して、「入学式は桜満開」という既成概念にとらわれず、しっかりと適切な自己表現をしていく相高生活にするんだよ、とでも言わんばかりに、「チーム42」の応援に加わってくれるように感じています。今日の皆の目に映る景色も、自分の貴重な経験に加えて下さいね。